

消防年報

令和元年度版



令和2年6月発刊

筑西広域市町村圏事務組合

消 防 本 部

は し が き

この年報は、筑西広域圏内の消防現勢及び令和元年度中の消防業務に関する諸般の統計を収録したものであり、消防の現況を関係者はもとより、広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、消防体制については令和2年4月1日現在をもって編集したものです。これによらないものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日により作成したものです。

この資料が、広く防災対策等への取組にご活用いただければ幸甚の至りに存じます。

令和2年6月

筑西広域市町村圏事務組合消防本部

令和2年度 筑西広域消防本部業務重点施策 「全員の叡知を結集して強い消防に変革する」

激変する災害、老朽化の進む庁舎、職員の働き方への意識変化など過渡期を迎え、その対応に一刻の猶予もならない筑西消防は、これら課題解決のために策定した第2次総合整備10カ年計画の実現に向け、全職員の叡知を結集し、強い消防への変革を成功させ、安心・安全な圏域を築く。

1 将来を見据えた科学的データに基づく消防庁舎更新計画の策定

当本部の消防庁舎の多くは、築40年以上を経過し、老朽化が著しく、計画的に更新することが必須となる。

そのために必要となる消防庁舎更新計画は、当本部の将来構想を決定する最重要事項であることから、署課長級以上で組織する消防力適正配置調査業務推進委員会を設置し、外部専門調査機関を活用して管内人口分布、交通状況、災害発生状況などのデータから現況分析と将来予測を行い、統合も視野に現有消防力を最大限活用できる署所の適正配置等を十分勘案した計画とする。

2 複雑多様化、広域化する災害への対応連携強化と本部組織再編による体制の充実

今後発生が懸念される首都直下地震等の大規模複合災害や、近年多発する局地的大雨や台風など自然災害への対応を強化するため、各拠点、各機関との連携を更に充実させ、総合的な組織対応力強化を図る。

また、その総合的な組織対応力を最大限発揮するため、消防本部に消防本部4課再編検討委員会を設置し、警防及び管理統制業務に重点を置いた消防本部事務の検証、見直しを行い、消防本部における災害対応の一元化、効率化を図る。

3 広範囲流行感染症への対応強化と救急需要増大を踏まえた救急体制の構築

新型コロナウイルス対応での活動を振り返り、今後、感染症が広範囲に流行した場合により円滑な対応を可能にするため、対応計画の見直しを図り、保健所など関係機関との連携体制を充実させ、感染者移送対策を強化する。

また、高齢化などによる救急需要の増加を見込み、医療機関と更なる連携を強化し、迅速な受入れ体制を構築する。

併せて、救急車適正利用に向けて、積極的に各種媒体を活用し、住民への一層の周知と理解を求める。

4 予防事務組織の再編等による防火査察及び違反是正実施体制の充実強化

火災危険や違反状況等の優先順位を考慮したこれまで以上の効率的・効果的な防火査察とするため、現行実施計画が十分に機能しているか検証を行い、改善を行う。

また、重大な違反が是正されない防火対象物に対し、積極的に厳正な違反処理を行うとともに、違反防火対象物公表制度などを活用し圏域住民が安心して管内の建物を利用できるように、適切な情報発信を行う。

更に危険物事務本部移管後の予防事務組織の検証を実施し、体制を整えるとともに、専門知識を有する職員の適材適所な配置や計画的な予防分野人材の養成を行い、防火査察及び違反是正実施体制を強化する。

5 心身ともに健康を維持できる職場環境の構築

勤務体制を総点検し、フレキシブルな労働環境を可能な限り整備することでワークライフバランスの実現を目指す。

また、これまで構築してきた安全衛生及び不祥事防止体制のさらなる充実に努め、職員が熱意と誇りを持ち、その能力を最大限に発揮できる職場環境を提供する。

目 次

総 務 関 係

筑西広域市町村圏域の概況-----	1
消防のあゆみ-----	2
令和元年度消防当初予算・分賦金明細-----	16
消防本部組織図-----	17
消防本部事務分掌-----	18
消防署（分署）事務分掌-----	20
消防本部・署所別庁舎一覧表-----	21
職員係別配置状況-----	22
階級別勤務年数-----	24
階級別年齢-----	25
消防職員教育状況-----	26

警 防 関 係 ----- 27

消防ポンプ自動車等の現勢-----	28
筑西広域市町村圏域図・消防車両等配置状況-----	29
救急・救助業務について・広域圏内救急件数・広域圏内覚知別出場件数-----	30
各署別・月別救急出場件数-----	31
年齢区分別・事故種別傷病程度別搬送人員-----	32
過去5年間の救急出場状況・救助出場状況-----	33
消防隊救急支援・ドクターヘリ・ドクターカー・熱中症出場状況-----	34

管 理 統 制 関 係 ----- 35

指揮隊出場状況・消防水利の現況-----	36
119番通報着信統計-----	37
緊急通報システム利用状況-----	38
気象観測状況-----	39

予 防 関 係	
火災について-----	4 1
火災概要・主な出火原因-----	4 2
市別火災種別・地区別出火件数-----	4 3
市別火災状況-----	4 4
月別出火件数・時間別出火件数-----	4 5
危険物・危険物規制対象施設数-----	4 6
市別危険物施設数・危険物施設立入検査状況-----	4 7
防火対象物・建築確認同意事務処理件数・火災予防条例に基づく届出状況-----	4 8
中・高層建築物状況-----	4 9
防火対象物数-----	5 0
広報活動実施状況・甲種防火管理者資格取得講習-----	5 1
民間防火組織等外郭団体結成状況-----	5 2
消 防 団 関 係 -----	5 3
消防本部・署（分署）所在地 -----	5 4

一 目 統 計

面 積	人 口	世帯数	予 算
451.12km ²	196,439 人 消防職員1人当たり 661 人	77,818 戸 消防職員1人当たり 262 戸	令和元年度消防予算 3,271,018 千円 市民1人当たり 16,652 円

署所数	職員数	消防団員数	119番通報
消防本部 4 課 消防署 3 署 分署 5 分署 出張所 2 出張所	定 員 300 人 現 員 297 人 (うち女性 4人)	消防団 93 分団 団 員 1,621 人	11,019 件 (内訳) 火災 126 件 救急 7,796 件 救助 100 件 その他 2,997 件

火災件数	救急件数	救助件数	消防隊救急支援件数
火災件数 80 件 (内訳) 建物火災 37 件 車両火災 14 件 林野火災 0 件 その他の火災 29 件 【出火原因】 1位 たき火 24 件 2位 放火(疑い) 18 件 3位 配線器具 7 件 4位 こんろ 6 件 5位 火入れ 3 件	出場件数 8,788 件 搬送件数 8,045 件 搬送人員 8,130 人 【救急 事故種別】 1位 急病 5,631 件 2位 一般負傷 1,191 件 3位 転院 897 件	出場件数 182 件 活動件数 17 件 【救助 事故種別】 1位 火災 69 件 2位 交通事故 58 件 3位 その他事故 42 件	出場件数 1,628 件 (PA連携) ドクターヘリ出動状況 要請件数 111 件 搬送件数 63 件 ドクターカー出場件数 要請件数 32 件 搬送件数 21 件

防火対象物数	危険物施設	防火団体
5,505 対象物 (内訳) 特定用途防火対象物 1,258 対象物 非特定用途防火対象物 4,247 対象物	984 施設 (内訳) 製造所 15 施設 貯蔵所 619 施設 取扱所 350 施設	防火管理協議会 426 事業所 危険物安全協会 342 事業所 婦人防火クラブ(4団体) 168 名 幼年消防クラブ(22団体) 1,186 名 少年消防クラブ(17団体) 577 名

消防車両等			水利
ポンプ車 5 台 タンク車 10 台 救助工作車 1 台 救急車 11 台	化学車 1 台 梯子車 2 台 指揮車 1 台 搬送車 2 台	水槽車 1 台 広報車等 9 台 その他 10 台 総合計 53 台	消火栓 4,128 箇所 (私設含む) 防火水槽 1,853 箇所 (私設含む)

(令和2年4月1日現在)